

青 私 幼

編集・発行
 (一社)青森県私立幼稚園連合会
 030-0861
 青森市長島二丁目10-4
 ヤマウビル8階
 Tel 017-722-2780
 Fax 017-722-2781
 aoshiyo@beach.ocn.ne.jp



令和6年度事業報告

1. 一般社団法人青森県私立幼稚園連合会
 第1回定時総会並びに第46回(令和6年度第1回)
 設置者・園長研修会
 日時 令和6年5月17日(金)
 会場 ホテル青森・Zoomによるオンライン
2. 第8回青森県私立幼稚園乳幼児保育研究会
 日時 令和6年6月15日(土)
 会場 東奥日報新町ビル3階ホール
3. 教職員永年勤続表彰(16名)
4. 第40回青森県私立幼稚園教員研修大会
 (弘前大会)
 日時 令和6年8月9日(金)
 会場 メイン会場 弘前パークホテル
 むつ会場 プラザホテルむつ
 Zoomによるオンライン
5. 第3回キャリアアップ研修会
 日時 令和6年11月16日(土)
 会場 ホテル青森
6. 一般社団法人青森県私立幼稚園連合会園長協議会
 (理事長・園長合同会)並びに第47回(令和6年度
 第1回)設置者・園長研修会
 日時 令和6年11月18日(月)
 会場 ホテル青森
7. 第12回新規採用教員研修会
 日時 令和6年12月14日(土)
 会場 愛育幼稚園



地域と共にある幼児教育

一般社団法人 青森県私立幼稚園連合会
会 長 山 西 幸 子



少子化が止まりません。2024年に生まれた子どもの数は、外国籍の方を含めて72万人ほどで、日本人だけでは70万人に届かないとのこと。我が青森県においても、この10年間で出生数はほぼ半減し、2024年は5,410人でした。

少子化は幼児教育に携わる私たちにとって、園の経営・運営に大きな影響を及ぼしその存続さえも懸念される状況です。私が園長を務めている八戸学院聖アンナ幼稚園の3月の園児数は43名で、この10年でほぼ半減しました。この状況は我が園だけではなく、青森県内の半数超の幼稚園で園児数が50名以下となっています。更に8割近くの幼稚園において園児数が減少し続けていることが、昨年の「園運営実態調査報告書」に示されておりますが、同様の状況は青森県のみならず全国各地でも見られる傾向です。

私は今、減少する園児数を突き付けられながら「我が園の使命とは？」ということのを改めて考えています。我が園が開園した昭和51年（1976年）頃の日本は高度経済成長期を経て第2次ベビーブームの出生数が頂点を示すところで、幼児教育の重要性が広く社会に浸透し全国各地で幼稚園が設立されておりますが、そのころから出生数のグラフは下向きに転じ、およそ半世紀が過ぎる今、超少子化時代を迎えています。その間、幼児教育を取り巻く状況は大きく変化し、家族のあり様にも多様な変化がみられ、両親ともに就労している家庭も多くなり、早朝から夕方遅くまでの預かり保育、加えて土曜日の預かり保育などの「子育て支援」が全国の幼稚園で展開されております。幼稚園を取り巻くこのような状況の変化を目の当たりにしながら、「子どもの育ちは、世の中が如何に変化しようが変わるものではない。」という思いは年々強くなってきています。そして、子どもの想いや子どもの健やかな成長のことよりも経済政策および労働政策を重視しているように映る現状の「子育て支援」の在り方に危惧を抱き、子どもたちの将来を見据えたとき、現状の「子育て支援」の方向性を見直し、ライフワークバランスのとれた生活への支援、子どもの育ちに焦点を当てた

「子ども支援」へと転換し、子どもを育てる幸せ、子どもとともに成長する喜びを感じることができる社会になることを切に願うのであります。

地域の中で小さな存在の我が園ではありますが、幼児教育の拠点として、地域に対して「子ども支援」の必要性を発信しつつ、良質な幼児教育を探求し、幼児期の子どもたちの生活を守り支えていくこと、このことが「我が園の使命」なのではないかと思うのであります。さらに、それぞれの地域に多様な幼稚園が在ることが、その地域における「子ども支援・子育て支援」の大切な要素であろうと思っております。小規模であっても、地域と共にそこに存在すること、これも「我が園の使命」なのではないかと思うのであります。

昨年の「園運営実態調査報告書」では、各園から多くの貴重なご意見が寄せられました。「保護者への補助や教職員の処遇改善だけでなく幼稚園への補助が必要。」「国全体で人を育てるための教育を見直してほしい。」「定員割れでも十分な教育ができる施策を求めろ。」等々。2月に開催された全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会において、これらのことを発信して参りましたが、これからも地域に多様な幼稚園が存続する価値を強く訴えて参りたいと思っております。

さて、令和8年9月4日（金）、5日（土）の2日間、東北地区私立幼稚園教員研修大会（八戸大会）が開催されます。八戸市の中心街で社会資源を活用した公開保育を行うことで、幼児教育を地域に発信し、子どもの可能性、子どもの力、子どもの素晴らしさ、子どもが居ることの価値を地域の方々に感じていただく機会にしたいと思っております。公共性と各園の建学の精神に基づく独自性によって営まれる私立幼稚園として、地域と共にあることを念頭にそれぞれの園において良質な幼児教育を探求し発信する機会となることも期待するところです。

その日まで、1年半。カウント・ダウンを感じつつ、皆さま方のご理解、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

青森地区から

園の紹介



認定こども園 甲田幼稚園

1. 園内のおすすめスポット

【広～い芝生の園庭】

美しく刈り込まれた芝生の園庭では、“サッカー”が大人気。ゴール目指してボールを蹴り、思う存分体を動かしている年長・年中組の姿が見られます。また、年少組や未満児組の子



どもたちは、砂遊びをしたり、すべり台や自動車型の遊具で遊んだり、シャボン玉を飛ばしたりとお天気の良い日は戸外での活動を満喫しています。虫に興味のある子は、花壇に集まってくるアリやダンゴムシを観察して、身近な場所で自然との触れ合いを楽しんでいます。

2. 園のイチオシ行事

【体操発表のある“おゆうぎ会”】

甲田幼稚園の特色の一つである“体操教室”の成果を、年長・年中組がおゆうぎ会で発表しています。本格的なロングマットを使つての組体操や側転・リズム運動などの演技は、小さい子どもたちの憧れの的。もちろんおゆうぎや歌・合奏なども、それぞれの年齢に合った候補の数曲の中から、自分たちが踊りたい曲、歌いたい歌などを選んで発表しています。未満児組のこどもたちも演目に合った衣装を身に付け、かわいらしく表現する姿が見られます。



3. 園の「今流行り」



【転がしドッジボール】

3歳以上児は「転がしドッジボール」に夢中。屋内でも体を動かすことが大好きな子どもたちは、先生やお友だちとボールを転がしたり、当てられないように逃げ回ったり、そしてボールに当たって残念がったりと、毎日元気いっぱい遊んでいます。



弘前地区から

園の紹介

認定こども園 東雲幼稚園



1. 園内のおすすめスポット

【アトリエ】

今年度から、0歳から5歳児が、登園後、混ざり合い関わり合って遊ぶ空間として、一保育室を「アトリエ」にしました。

ここは子どもたちにとって、色々な素材（廃材を含む）や画材・教材を自由に使って思う存分作ることの楽しさを味わえる場所、また様々な年齢が一緒になって自由にじっくり遊ぶことができる安心感が得られる場所になっています。



2. 園のイチオシ行事

【しのめねぶた祭り】

幼保小接続事業の一環として、近隣の小学校の4年生と、近くの保育園、そして養護学校の小学部、四校園が共同で本園のねぶたをひっぱります。保護者にねぶたの絵師さんがいて子ども達と制作します。今年のテーマは『一寸法師』。運行後はみんなでチリンチリンアイスを食べます！



3. 園の「今流行り」

【プロジェクト保育】

異年齢（3・4・5歳児）で話し合い、みんなで遊びを進める「プロジェクト保育」に取り組んでいます。「みんなでおうちごっこ」「キャンプ&遊園地」「ねぶたプロジェクト」に続き、プロジェクト保育第4弾『しのめむら』では、新聞紙やチラシの丸棒を使ったアートワークショップをきっかけに、試行錯誤して作った電車やトンネル、駅や踏切、魚釣りやパン屋さんなど新聞棒ならではの世界が広がり、子ども達はいきいきと遊びに没頭しました。



八戸地区から

園の紹介

三沢カトリック幼稚園



1. 園内おすすめスポット

【広い園庭と遊具】

園舎の前には広い園庭があり、秋の運動会は保護者を招いてここでを行います。

普段から天気の良い日はまず外遊び。水線で描いた巨大迷路を楽しむ子、手押し車を押して歩き回ったり三輪車に乗ったりしている子、砂の中にある小さなキラキラした欠片を「ダイヤモンド」と称してじっくり探し拾い集める子、周囲にある固定遊具（今年度リニューアルしたものも！）で友だちとの遊びを楽しむ子…。入園したばかりで泣き顔を見せる子も、園庭で遊ぶといつの間にか笑顔になることも多いのが自慢です。



2. 園のイチオシ行事

【クリスマスお祝い会】

幼稚園のホールで行われるクリスマスお祝い会。イエス様のお誕生をお祝いして、年長組がご降誕の劇「聖劇」やお祈りの「光の式」をする他、満3歳児と年少組が遊戯を年中組が舞踊劇を披露し、最後は侍者服姿の子ども達によるフィナーレ。大勢の観客を前に緊張しながらも、練習の成果を発揮する子ども達に、集まった保護者から温かい拍手が送られました。子ども達にとっても自信につながる行事です。



3. 園の「今流行り」

【園庭で盛り上がる「色水遊び」】

園舎につながる通路には、毎年たくさんの種類のバラの花、ツツジ、ユリ、ボタン、花壇にはチューリップ、ミヤコワスレ、他にも色々な花が咲き誇ります。子どもたちはこの花々を擦り潰し、思い思いの色水を作ることに夢中。時間を忘れて取り組み、出来た色水をペットボトルに入れて、「ジュース屋さん」に発展することも…。小さい組が上手くできない時は、大きい組の子が教えたり、手伝ったりする姿も自然と見られています。



三沢市中心部の市街地に位置する本園ですが、天気の良い日には園庭で好きな遊びを楽しんでいます。アメーバブログにて行事や活動を紹介していますので是非ご覧ください。



令和6年度青私幼研修会報告

青私幼設置者・園長研修会



テーマ すべての子どもの幼児教育の充実・発展を考える
～社会状況の変化を乗り越える園を目指して～



第46回

令和6年5月17日(金)
ホテル青森・Zoomによるオンライン

講演 私立学校法の改正等について

講師 神山 弘 氏 文部科学省 高等教育局私学部 私学行政課長



第47回

令和6年11月18日(月)
ホテル青森

◆研修(1)(次世代に向けて)

①第I講座

☆演 題 「予測不可能な時代に向かう設置者/園長の心構え」
あなたは自園のこれからをどのようにデザインしようとして
いますか?

☆講 師 安家 周一 先生
(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長
幼稚園型認定こども園あけぼの幼稚園理事長・園長

②次世代ランチミーティング

③園長協議会(理事長・園長合同会)

1. 会務・事業報告
2. 協議題
 - (1) 予算の執行状況について
 - (2) その他



◆研修(2)(設置者園長研修)

④第II講座

☆演 題 「質の向上と労務リスクの観点から考える
～幼稚園の労務管理と職場環境改革～」

☆講 師 菊地 加奈子 先生
社会保険労務士法人ワーク・イノベーション代表

⑤設置者・園長分科会

- (1) 子ども子育て支援新制度の問題点等について
- (2) ICT化・DX化について
- (3) 将来を見据えた園経営について



研修会アンケートから

◎普段の会議等ではお会いできない方々と話し合う機会があり、各園での取り組みや、若い方々がどう考えているのか等をお聞きすることができたことが良かったと思う。◎同じ職位の方々とランチをしながらの交流はとて有意義な時間でした。◎講師の先生方の研修ももちろん充実したものでしたが、それと同じくらい他の園の教頭先生など若手の方との意見交換は有意義な時間でした。◎常に悩みは尽きないものの、新制度に移行し、新たな悩みにぶち当たっていたが、その悩みは他園の方々と同じようなものであることを知った。◎意見交換や分科会はこれからも続けていただけるととても勉強になりますのでお願いしたい。◎午前の安家先生のお話が長く聞けた点ではとても良かったのですが、その分、分科会の時間が少し足りなかったように感じた。◎自身の知らない情報を聴くことができたので、刺激になった。◎当日は少ししかディスカッションできなかったのが、また同じような機会があればいいなあと感じた。



第8回乳幼児保育研究会



第Ⅰ講座

内容 「子どもの発育発達について」
～動く身体を身につけるためには～
講師 川戸 元貴 先生
(一社) BLUE KIDS 代表理事



第Ⅱ講座

内容 「ことば」をはぐくむ
～乳幼児のことばの発達と支援～
講師 成田 光順 先生
社会福祉法人やまぶき福祉会 理事
医療法人なんば耳鼻咽喉科 言語聴覚士

研究会アンケートから

◎すぐにでも役立てたい内容が沢山あり、とても勉強になった。
◎日頃の保育の自分自身の確認もできた。
◎コトバだけではわかりにくいので、まずは動いてみる、環境設定が大切なことを学んだ



第2回キャリアアップ研修会



第Ⅰ講座

内容 『良くしたい願いと、良くなりたい思い』
～幼児教育の現場で考える「質」と「評価」～
講師 岡本 潤子 先生
青私幼教研委員長
(一財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究委員長



研修説明 (一社) 青森県私立幼稚園連合会の研修について

研究会アンケートから

◎「グラフィックファシリテーション」の内容がとても良かったので、更に学びを深められる機会があれば嬉しい。
◎年齢が高くなるにつれ、子ども達同士の仲違いが多くなり、対応の仕方、言葉掛け等学びたい。
◎食育のニュースが多いので、保健衛生、安全対策、感染対策について・ICTを活用した保育の実践例や研究発表、それに伴う「子どもの育ち」について学びたい。

第Ⅱ講座

内容 『無自覚を自覚化する「グラフィックファシリテーション」とは』
講師 山田 夏子 先生
株式会社しごと総合研究所 代表取締役
(一社) グラフィックファシリテーション協会 代表理事
システムコーチ/クリエイティブファシリテーター



第11回新規採用教員研修会



第Ⅰ講座

演題 『美しい姿勢と正しい発声 表現力を磨く』
講師 種市 万里子 先生 (劇団四季出身)
万里バレエ・ミュージカルダンススタジオ 主宰



第Ⅱ講座

演題 『救命講習会』
講師 青森地域広域事務組合消防本部 警防課

第Ⅲ講座

演題 『絵本から広がる保育活動』
講師 油川 育子 先生
認定こども園八戸文化幼稚園園長



研究会アンケートから

◎正しい姿勢や発声方法をし続けることや、常に笑顔をかかげることで子どもたちもより楽しく活動に取り組めるようにしたいと感じた。
◎コミュニケーションを取りながら、身体を動かして楽しく学ぶことができた。
◎応急手当の基礎知識を深めるとともに、実技で心肺蘇生法を実施できてAEDの使い方を再認識することができた。
◎実際に保育の場で活かせるようなAEDを使った救命方法を学べてとても為になりました。本当に子ども達が倒れてしまった時落ち着いて対応できるようにしたいです。
◎絵本で活動の導入を行い子どもたちの興味を引き出すというのが面白いなと思いました。
◎絵本が持つ無限の可能性に驚かされ、とても勉強になった。


第40回教員研修大会（弘前大会）


開会式 次第

開 式

会長あいさつ	山西 幸子
来賓祝辞 青森県知事	宮下 宗一郎 様
弘前市長	櫻田 宏 様

来賓紹介
 永年勤続者表彰
 幼稚園讃歌合唱

閉 式

研 修

第Ⅰ講座

演題 幼児教育における遊びの充実を目指して
 講師 砂上 史子 先生 千葉大学教育学部教授

第Ⅱ講座

演題 人間力が人生を豊かにする
 講師 宇野 健司 先生 東京大学宇野ゼミ講師



研修会アンケートから

◎今日の研修では普段の自分の保育を振り返りながら反省点や見直すべき点を改めて認識した。仕事の中に慣れが出てくること、それはゆとりをまって活動や関わりについて客観視するチャンスだったと思った。意識を高く持ち、今後の保育にこの反省を活かすべく今から計画したい。◎どちらの講座も自分の普段の保育を見直すきっかけとなった。特に第Ⅰ講座のあそびの中で子どもたちは成長していくという部分では、今後の保育に活かしていきたいと思う。◎宇野先生の講話がとても楽しくて学びがたくさんあった。人としての立ちふるまいについて場数をふんでいきたいと思うとともにもっと話を聞きたいと思った。◎東大の授業なんて一生受けることはないと思っていたので今日の講座は大変うれしく貴重な経験となりました。またこのような機会があるとうれしい。◎今回の宇野先生のお話のように保育に直接関わる内容でなくても、通じるものがあった。◎宇野先生の講座は「人間力」という初めてのものであったが、大変納得のいくものであったので、ぜひまたお話を伺いたいと思った。

青森県保育・教育5団体協議会について

令和6年6月に青森県内の幼保関連5団体が保育・教育のさらなる充実を目指して「青森県保育・教育5団体協議会」を設立し、9月には県庁で宮下宗一郎知事に協議会設立の報告をいたしました。

設立した5団体は、一般社団法人青森県保育連合会、社会福祉法人日本保育協会青森県支部、青森県私立保育協会、NPO法人全国認定こども園協会青森県支部、一般社団法人青森県私立幼稚園連合会です。

また、青森県議会自由民主党政務調査会の方々との勉強会を9月に開催し、超少子化時代における保育・教育の現状と課題を共有し、子ども子育てのより良い環境の構築について協議いたしました。

保育の団体と幼児教育の団体がつくる協議会は全国的にあまり例がありませんが、子どもたちの健やかな成長を第一に考える協議会として連携を深めていくことが期待されます。